

校章



校歌

喜びはともにあること
さくら咲く 宇治
狭霧たつ川の流れのほとり
静かな朝の光に集う
わたしたちはひとつ
学んでいる 日々
生きている 美しく
喜びは ともにあること
おお 紫ぞ匂う
宇治支援学校
わたしたちの誇り

松本公雄 作詞
榑田 睦之扶 作曲

校章について

- 1 学校名「京都府立宇治支援学校」の中から、地名である「宇治」をアルファベット「U」「J」「I」で組み合わせたシンプルな構成とした。
- 2 色は京都府を表す「紫」と宇治市の花である「やまぶき」の2色を基本とする。また、城陽市の花「花菖蒲」の色も表現している。
- 3 「U」の右側で宇治川の流れを示すスリットを入れることにより、「J」を表した。「I」は小文字の「i」とし、子どもたちの姿を表している。
- 4 中央のデザインのアルファベット「i」は、自律を目指す子どもたちが地域で力強く生きていく姿を象徴している。



京都府の特別支援教育を牽引し、ノーマライゼーション社会の推進に貢献する学校。

 京都府立宇治支援学校

問い合わせ先

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10
TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220
ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/uji-s/>

喜びはともにあること

校時表

▼標準校時表

時刻	校時	曜日				
		月	火	水	木	金
～ 8:50	登校					
8:50～ 9:00	ホームルーム					
9:00～ 9:45	1限目					
9:50～ 10:35	2限目					
10:40～ 11:25	3限目					
11:30～ 12:15	4限目					
12:15～ 13:15	給食					
13:15～ 14:00	5限目					
14:00～ 14:45	6限目					
14:45～ 15:00	そうじ					
15:00～ 15:10	ホームルーム					
15:10～	下校					
～ 16:10	部活動					

- ・宇治支援学校では基本となる学習時間を4.5分とし、全学部1週間を通して同じ下校時刻を設定しています。
- ・実際の1日の学習時間の区切りについては、学部（高等部のコースごとを含む。）の目標・内容によって、学習時間を編成することとしています。
- ・自主選学生については、放課後の課外活動として部活動を設定しています。

年間行事

学期	月	行事	評価の二期制
1学期	4月	竣工・開校入学式 1学期始業式 学校公開日（休日参観日）・PTA総会 （前期：個別の指導計画作成）	前期
	5月	家庭訪問・公開避難訓練①	
	6月	学校公開日（参観日） プール指導開始 学校説明会	
2学期	7月	小学部プレイフェスタ 学校公開日（参観日） 1学期終業式	後期
	8月	（前期：評価改善・後期：個別の指導計画作成） （個別懇談）（夏季休業） 2学期始業式	
	9月	中学部スポーツフェスタ・カフェJOY開店式 高等部（地域・職業コース）修学旅行 学校公開日（休日参観日）	
	10月	小・中・高（健康コース）修学旅行 学校説明会 学校公開日（参観日）	
	11月	公開避難訓練② うじ「えん-JOYフェスタ」（仮称） 学校公開日（休日参観日）	
3学期	12月	高等部スポーツフェスタ 高・参観日 学校公開日（小・中参観日） 2学期終業式	後期
	1月	3学期始業式 学校公開日（参観日） 高・入学相談	
	2月	学校公開日（参観日） 小・中・入学相談 （後期：評価改善）（個別懇談）	
3月	卒業式 修了式 入学説明会 （次年度方針作成 引き継ぎ）		

※予定（各学部の目標・内容により変更する。）

自立と社会参加を目指す教育

日々の授業を大切にし、
将来を見据えた、
まとまりとつながりのある教育

教育目標 "自律"

～生活に生きるすべてを学ぶ～

学校評価の活用

日常的な公開授業の実施
地域の方々と連携した
リアルタイムな評価による授業改善

学習スタイル

平日頃から地域とつながり、
地域に生きる、地域で働くための
「地域学習」を展開

▼学校のコンセプト

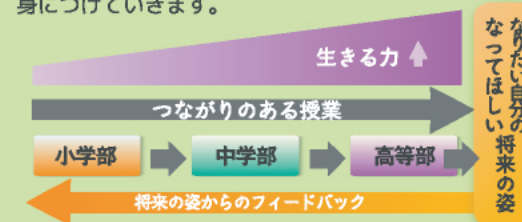
- ・すべての人がともに支え合って暮らす社会（ノーマライゼーション社会）の推進に貢献する学校
- ・市街地の立地条件を生かして、地域との交流を展開し、地域に貢献する学校
- ・全室冷暖房、学校緑化、室内温水プールなど、充実した教育環境の学校
- ・京都府の特別支援教育の拠点として教育相談・研究・研修支援のサポートを行う京都府スーパーサポートセンターを設置する学校

▼地域と生きる学校

- ・宇治支援学校は、一人ひとりの自立と社会参加を実現するために、児童生徒が地域（宇治市・城陽市）と密着した日々の中で、生活する力、働く力といった生きる力を育む教育を推進していきます。
- ・また、日々「わかる授業」を大切に、自立と社会参加を目指す児童生徒一人ひとりのニーズにこたえる教育を進め、児童生徒が主体的に活動することでその可能性を伸ばし、社会に参加する生き方を身につける教育を行います。

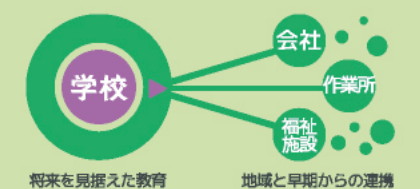
▼将来を見据えて

- ・小学部のころから、勤労観を育んでいく授業を展開するなど、将来を見据えた教育を進め、卒業後に向けた生きる力を身につけていきます。



▼自立を目指して

- ・卒業後の生活を見据えた教育と早期から地域での体験・実習を推進し、自立と社会参加を目指します。



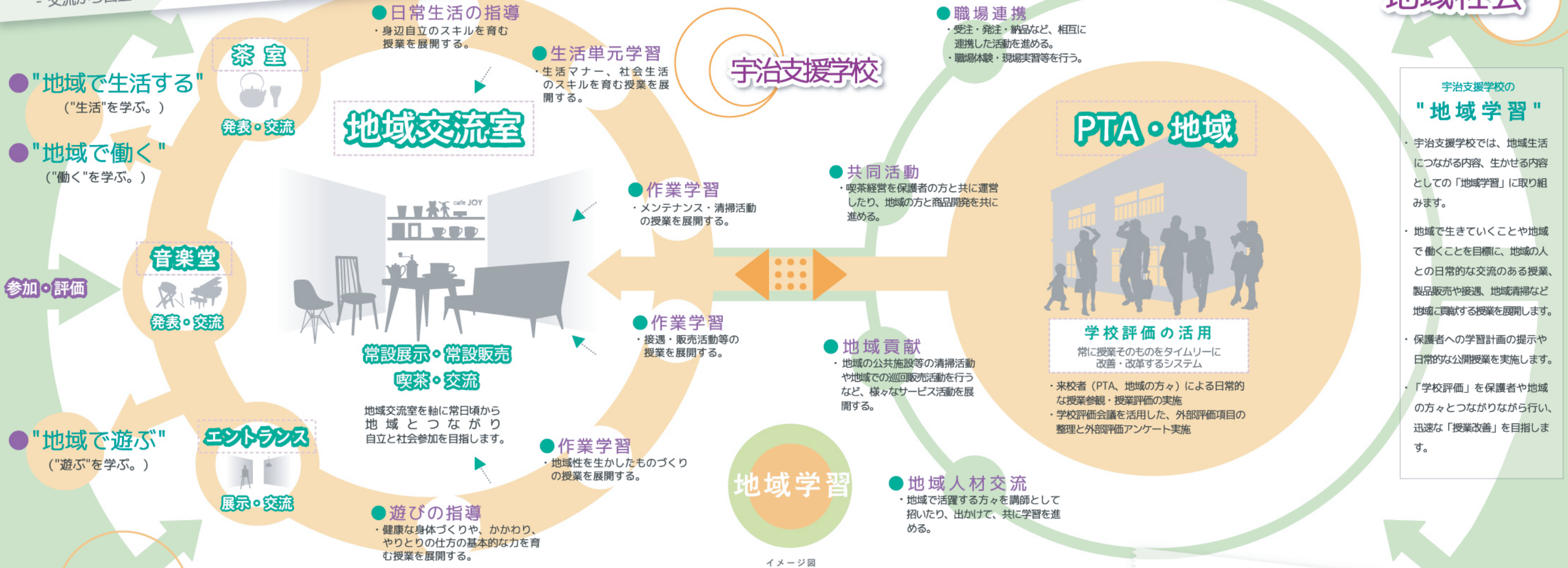
学びのスタイル = 地域学習

～生活に生きるすべを学ぶ～

～学校から地域へ 地域から学校へ～

地域交流室から広がる教育

- 交流から自立と社会参加を目指してステップアップ! -



地域社会

宇治支援学校の "地域学習"

- ・宇治支援学校では、地域生活につながる内容、生かせる内容としての「地域学習」に取り組みます。
- ・地域で生きていくことや地域で働くことを目標に、地域の人との日常的な交流のある授業、製品販売や接遇、地域清掃など地域に貢献する授業を展開します。
- ・保護者への学習計画の提示や日常的な公開授業を実施します。
- ・「学校評価」を保護者や地域の方々とながら行い、迅速な「授業改善」を目指します。

学校だけで終わらない学校教育

- 開かれた学校からはじまる地域一体型学習スタイル -

地域社会

地域学習の要素

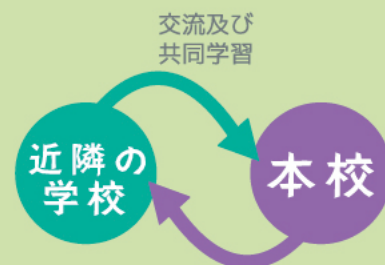
地域学習において授業の主体となる4つの要素



宇治支援学校では、4つの要素を積み重ねながら学習を進めます。

- 「健康」
地域のスポーツ交流会参加、地域への散歩・ジョギングなどの身体づくり等
- 「生活」
公共施設、公共機関の利用、地域での買い物学習、地域での清掃活動等
- 「表現」
地域行事への参加、音楽や劇の観賞・発表、文化学習、展示品制作等
- 「職業」
手伝い、当番活動、製品づくり、販売学習、職場実習等

近隣学校との交流

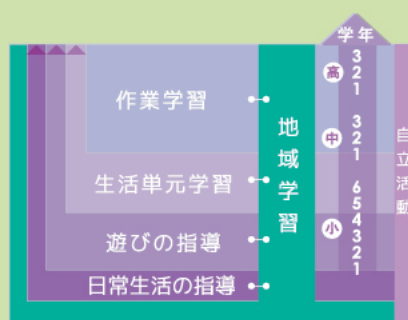


- ・障害の有無にかかわらず、子どもたちが一緒に参加する活動を進めることで、相互のふれあいを通じて互いが理解を深め、豊かな人間性を育み、自立と社会参加につなげていきます。
- ・市街地にある宇治支援学校では、その条件を活用して、日常的な学校間交流を進めていきます。
- ・遊び・スポーツ、作品を通して、または学芸的行事や体育的行事を通して交流を進めていきます。



学びの進め方

「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」などの「教科等を合わせた指導」において、「生活に生きるすべ」を年齢に応じて、単元や題材として学習します。
また、これらの学習内容を地域生活につながる内容・生かせる内容として、「地域学習」を日常的に行い、生活に役立つ力を身につけていきます。



自立活動

日々の授業はもとより、教育活動全体の中で、児童生徒が学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、自立と社会参加を目指す指導を進めていきます。



担任が主導となり、自立活動支援担当者として協力して、自立活動の指導を教育活動全体を通して進めます。

制服



「制服」

- ・ 中学部から導入し、登下校、式典、就職活動等で着用することを基本とします。
- ・ 宇治支援学校の生徒であることと自覚・誇りを持つことや、公の場を意識し行動できる力を養います。
- ・ 宇治支援学校の生徒であることを地域に知ってもらい、安心・安全の確保につなげます。



「体操服」

- ・ 小学部から導入し、主に体育等の場面で着用します。
- ・ 場に応じて衣服を更衣することで、見通しを持って行動できる力を養います。また、動きやすい服装になることで、安全の確保にもつながります。

「作業服」

- ・ 中学部から導入し、主に作業学習の場面で着用します。
- ・ 場に応じた衣服に更衣することで、主体的に行動することや、就労を意識し活動する力を養います。また、活動しやすい服装になることで、安全の確保にもつながります。

学級編制



・ 医療的ケアを必要とする重複障害のある児童生徒については、健康・生活・学習リズムの安定を大切に複数学年による学級編制を行います。

・ 小学部・中学部の学級については、卒業後を見据え、その年齢に応じた教育を進めることや、積み重ねを大切に学年別による学級編制を行います。

・ 高等部については、将来の姿を想定した3つのコースを設け、それぞれ学年別の学級編制を行います。

・ 自閉性障害を伴う知的障害のある子どもについては、小学部早期段階から教育的ニーズに応じた支援を行い、将来の自立を目指します。

各学部の学び

高等部

- ・ 「作業学習」を中心に、働くことを学ぶことや、それまでつけてきた力を場面や状況に合わせて使うことを学習し、地域や社会で生きる・働く力をつけます。

中学部

- ・ 「生活単元学習」を中心に、仲間と目的を共有することや、力を合わせることを学び、地域・家庭生活を自分で広げることができる力をつけます。

小学部

- ・ 「遊びの指導」を中心に、身体を育てることや、自分の意思を表すこと、周りの人や物とのかかわり方・やりとりの基本的な力をつけます。

部活動

- ・ 放課後の課外活動として部活動を行います。
- ・ 対象の生徒は、中学部・高等部の自主通学の生徒で部活動を希望する者となります。
- ・ 部活動の種目については、府内の競技大会や発表会があることを基本にした種目を取り入れていきます。



地域資源の活用

- ・ 地域で活動する個人、グループと宇治支援学校とがつながり、様々な活動を展開していきます。

- (例)
- ・ サッカー教室・茶道教室・グラウンドゴルフ
 - ・ 陶芸教室・和太鼓教室 等



高等部・各コース内容のイメージ

暮らし健康コース

生活の質の向上や地域とのかかわりを広げ、福祉就労など、社会に参加できる力を身につけるコース

なっほいい将来の姿 (例)

- ・ 生きがいを見つけ、生きることを楽しみ生き生きと日々を過ごすことができる人
- ・ 人とのかかわりを受けとめ、心身共に健康に日々を過ごすことができる人

3年生

- ・ 様々な人とかかわることができる力を育む。(福祉施設等の体験・交流等)

2年生

- ・ 楽しめることに見通しを持ち、主体的に活動できる力を育む。

1年生

- ・ 興味や関心を広げることが育む。

暮らし地域コース

文化的活動による自己表現の力や福祉就労など地域の中でともに活動できる力を育てるコース

なっほいい将来の姿 (例)

- ・ 地域の中で地域の方々と共に動いたり、過ごすことができる人
- ・ 自信を持って、得意な力を発揮して、地域に参加できる人

3年生

- ・ 一日を通して地域で豊かに過ごす力を育む。(作業所等での体験・実習等)

2年生

- ・ 地域での活動を通してコミュニケーションの力や社会性を育む。

1年生

- ・ 基本的な作業を通して、技術・態度・マナー等を養い、勤労観を育む。

暮らし職業コース

企業就労を目指し、労働・家庭生活・余暇のバランスがとれた地域生活の確立を目指すコース

なっほいい将来の姿 (例)

- ・ 働くことに生きがいを持って、自らの生活を豊かにしていくことができる人
- ・ 社会の様々な活動に、主体的・意欲的に参加し活動できる人

3年生

- ・ 進路の選択・決定ができる力を育む。(職場での体験・実習等)

2年生

- ・ 作業・接客・販売等の活動を通して、働くことの意味や社会性を養い、勤労観・職業観を更に育む。

1年生

- ・ 作業を通して、技術・態度・マナー等を養い、勤労観を育む。

※コース選択については、本人・保護者の意向を大切にしながら、本人の将来像に応じたコースを学校が決定します。

各コースの時間割

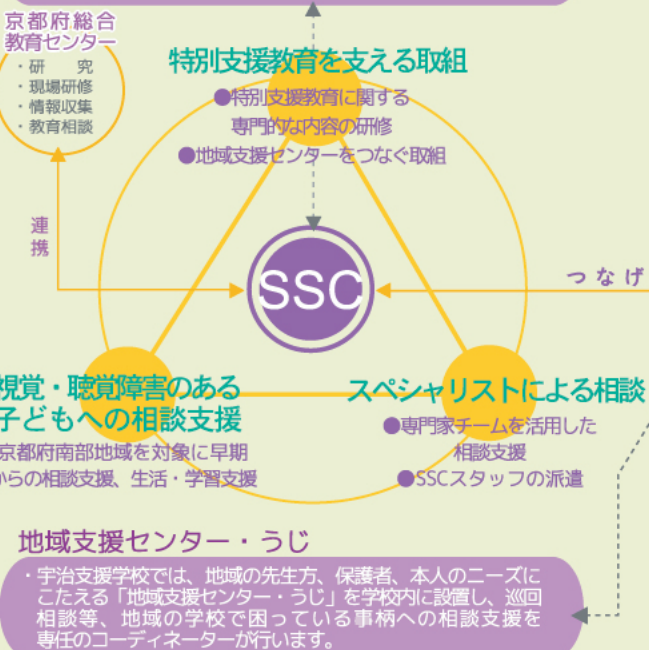
コース	月	火	水	木	金	
暮らし健康コース	～ 8:30					
	8:30～ 8:50	登校				
	8:50～ 9:00	ホームルーム				
	9:00～ 9:45	健康				
	9:50～10:35					
	10:40～11:25	表現・職業				
	11:30～12:15					
	12:15～13:15	昼食・休憩				
	13:15～14:00	表現・生活				
	14:00～14:45	健康				
	14:45～15:00	そうじ				
	15:00～15:10	ホームルーム				
15:10～						
暮らし地域コース	～ 8:30					
	8:30～ 8:50	登校				
	8:50～ 9:00	ホームルーム				
	9:00～ 9:45	健康				
	9:50～10:35	職業	表現	職業	表現	生活
	10:40～11:25	職業	健康	職業	健康	生活
	11:30～12:15					
	12:15～13:15	昼食・休憩				
	13:15～14:00	職業	生活	職業	総合	生活
	14:00～14:45	職業	生活	職業	特活	生活
	14:45～15:00	そうじ				
	15:00～15:10	ホームルーム				
～15:10						
暮らし職業コース	～ 8:30					
	8:30～ 8:50	登校				
	8:50～ 9:00	健康				
	9:00～ 9:45	ホームルーム				
	9:50～10:35	表現	職業	表現	職業	職業
	10:40～11:25	職業	生活	職業	健康	職業
	11:30～12:15					
	12:15～13:15	昼食・休憩				
	13:15～14:00	職業	健康	職業	総合	職業
	14:00～14:45	職業	健康	職業	特活	職業
	14:45～15:00	そうじ				
	15:00～15:10	ホームルーム				
～15:10						

地域学習における4つの要素で時間割を表しています。

京都府スーパーサポートセンター

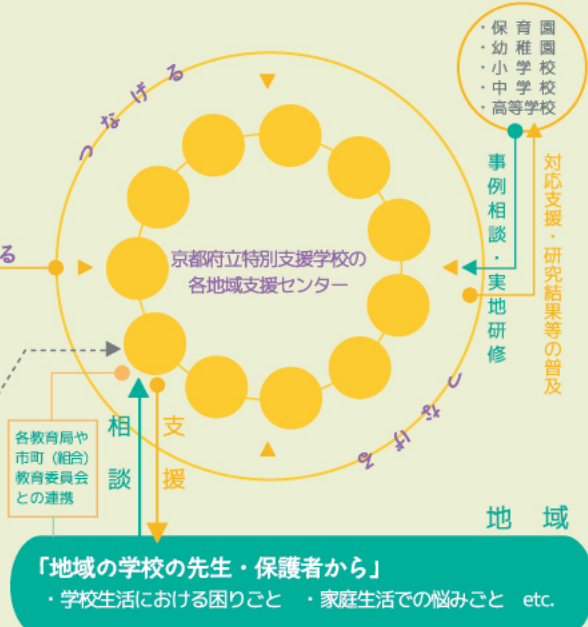
京都府スーパーサポートセンター (SSC)

- ・ 京都府の特別支援教育の拠点として、宇治支援学校内に設置し、研修・研究や専門家チームによる相談支援、視覚・聴覚障害のある子どもへの相談、生活・学習支援等を行います。



京都府立特別支援学校の各地域支援センター

平成19年4月から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、幼児児童生徒の支援を更に充実していくこととなりました。また、特別支援学校は、地域のニーズにこたえて様々な相談サービスを開始しています。



京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10

- ▼ 「通学区域」 - 宇治市・城陽市 / ▼ 「障害種別」 - 知的障害・肢体不自由 / ▼ 「設置学部」 - 小学部・中学部・高等部 / ▼ 「敷地面積」 - 約23,583㎡ / ▼ 「施設規模」 - 校舎・体育館等 約15,657㎡ (新築14,305㎡・改修1,352㎡) / ▼ 「通学方法」 - スクールバスを配備 (一部 公共交通機関による自主通学)

- ▼ JR奈良線 - 新田駅から徒歩8分 / ▼ 近鉄京東線 - 大久保駅から徒歩12分 / ▼ 京阪宇治交通バス - JR宇治駅バス停から最寄りのバス停まで7分

